

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019年1月号(第123号)

発行責任者 佐藤 重松



並木 啓子氏／作 木目込み人形『亥』

仲山 富夫氏／撮影

転換期の倶楽部に新しい活力を！

池田 新八郎

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

ところざわ倶楽部は本年で12期目を迎え、今まで築いてきた基盤から、次の時代に向けて新しい飛躍、改革が求められている時期に来ています。丁度今年是新元号となり5月には新天皇が誕生、来年度はオリンピック、パラリンピックの年です。「時代が動いている」、高度経済成長期、東京オリンピックの頃(昭和39年)のような新しい息吹を彷彿とさせます。ただ現在は復興期の日本ではなく、戦後74年、安定期を迎えた超高齢化社会となっています。

ところざわ倶楽部の中心メンバーも創設した14期、15期から18期、19期、20期へと移行しています。また最近の動向を見ているとサークル運営も見直しの時期に来ていると感じています。活性化しているサークルもあれば、後継者が見つからない、なかなか新

会員が加入しないサークルもあり、課題が生じています。何よりも会員の高齢化、市民大学修了生も退職年齢が65歳、70歳へと上がってきています。まずサークルの強化、会員の年齢、趣向に合ったテーマ、楽しい活動を創意工夫してみることが肝要かと思います。

12期の活動の指針として次の5項目の改革案が掲げられています。①身近な所属地域に、サロンの交流の場を作る。②実行委員会を立ち上げ地域貢献につながる事業の実施。③サークル相互のコラボ・交流。④「市民大学の在り方」の検討。所管の教育委員会への提言。⑤新しいサークルの立ち上げ、新会員加入に向けて努力。

いずれもところざわ倶楽部を改革すべく重要なテーマであります。時代の転換期に皆で一致団結し、活力ある、「目に見えるところざわ倶楽部」にしていきたいものです。

「新春の集い」ご案内

場所： さくら会館

*レジデンシャル小手指さくら内
小手指駅南口徒歩8分・駅より信号2つめ角

日時： 2019年1月29日(火)

13:00 開場 13:30 開演

1部：アルパ演奏 倉品 真希子

2部：落語 (富岡落語研究会)

水々亭めだか

きさらぎ亭きらら

3部：新旧会員懇親会

新会員紹介・サークル紹介等

新年の抱負などお茶を飲みながら！

*会費・新会員無料、既会員 500 円

連絡先 森野：04-2939-9756

小玉：090-8025-7526

アルパ演奏家

倉品 真希子さんプロフィール



所沢市在住・
地元を拠点に
各地で演奏会
を開催してお
ります。大きな
ホールや小さ
な会場、結婚式
のサプライズ

演奏、弾き語り演奏などさまざまな演奏スタイルで活動しています。

生音の届く小さな空間でオリジナルラブソングと南米音楽を奏で、ソロを中心に、マンドリン、ハーモニカ、バイオリンとのアンサンブルも行っております。

この楽器は南米パラグアイの民族楽器で「ハープ」をスペイン語読みして「アルパ」といいます。36本の弦と木製の胴からなり、約5オクターブの音域があります。ご期待ください！

落語で愉しみ&楽しみ！

渡辺 昌一郎 (芸名 水々亭めだか)



落語と関わって丸6年となりました。

定期的に池袋演芸場・新宿末廣亭等の寄席や独演会、落語会に通っています。そこで、好きな落語家さん等の「噺」を聴くことは、

間の取り方や声の出し方、仕草、演技の参考になると思い、愉しみながら足を運んでいます。

また、地域の自治会やサロン、介護施設、親睦会等の出前寄席や富岡寄席、花見寄席の自主公演において、どうにか落語を演じる楽しみを少し感じられる様になりました。ただし、新しい落語(噺)を覚えなければいけない苦労や落語の本題に入る前のマクラ噺を創作する難しさも感じています。

出前寄席や自主公演では、お客様の笑顔や笑い

声、拍手が一番の喜びでもあります。これからも素人の落語を聴いて頂ける事に感謝しつつ、落語を通して人との出会いと、ふれあいを楽しみにこれからも続けたいと思います。

今後の目標として、出演回数「250回」(あと84回)と新しい噺を「5話」覚える事。自分のペースで無理せず楽しみとして目指して行きたい。

さらに、落語の見聞を広めるために、落語に関わる「歌舞伎」・「能」の知識を深める事。また、江戸落語の舞台を歩く事で、その時代の雰囲気や匂いを感じて、主人公の気持ちが理解できれば、少し「噺」の幅が深まるのではないのでしょうか。上野界限なら「長屋の花見」、浅草だったら「粗忽長屋」、目黒に行けば「目黒のさんま」、芝高輪方面では「芝浜」。

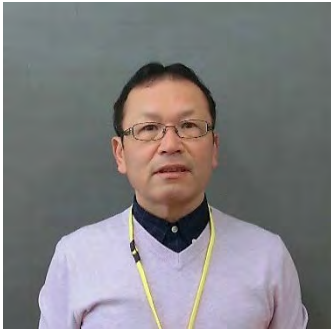
“ぶらり落語めぐり” 江戸の名残を楽しみながら訪ねてみたい。

今や落語の世界と私は縁が切れなくなりまた！

新会員の声

ところざわ倶楽部「アジア研究会」の仲間になって

アジア研究会 武田 重明



を懐かしく覚えています。

当時の私は、市民大学グループワークでは、政治的な問題は、できるだけ取上げないようにしようと思っていました。しかし、私たちの生活と政治は密接に結びついているので、どうしても取り上げざるを得ない事が多いのが悩みでした。そこで、アジア研究会を見学し、政治的な問題も気軽に話が聞ける、話し合える会へ入会しました。

「2017 年中国事情報告」でも HUAWEI 社の紹介があり

ちょうど、一年前に市民大学から配布された、ところざわ倶楽部「広場」10 月号のサークル活動計画・玉上会員による「最新中国事情(2017 年)報告」を、ふと見て、メールで見学をお願いしたの

「スマートフォン市場・世界第 3 位」と報告されていましたが、2018 年は市場シェアで Apple を抜き「第 2 位」と報じられています。

今週、メディアは「カナダ政府、HUAWEI の最高財務責任者(CFO)の孟晩舟氏をバンクーバーで逮捕」を報じています。

一方でアメリカ政府は、同盟諸国に HUAWEI 製品の使用中止を求めています。

今後、5G ネットワーク網の国際統一化、設備機器の主導権争いで世界バトルが激しさを増すと思われます。

日本人と言うより、世界市民としての発想する意見、ほとんど少数意見、を受け入れるアジア研究会に今後も期待します。

最後に、非正規部員の 1 年間を温かく迎え入れて頂きありがとうございます。晴れて、ところざわ倶楽部「アジア研究会」に入会させて頂きました。

緑の豊かな所沢がいいな！

所沢の自然と農業 吉田 文枝



北陸生まれで、海や川がある自然豊かな環境で育った。子どものころは、近くの砂浜や道路で遊び、中学、高校はテニスで真っ黒。

大学生活は瀬戸内の晴れの日が続く地域で過ごした。冬の北陸では青空を見ることがほとんどなく、穏やかな冬は驚きだった。

結婚し、からっ風の吹く関東に住むことになった。所沢は、まだまだ自然が残っていて、まちの中の雑木林や公園が好きだった。

故郷の山は、「あて」と呼ばれるあすなろの木を植林した深緑の森で、それはそれで美しいが、所沢の雑木林の明るさや多様性が魅力的だった。

所沢で 40 年ほど暮らし、ここで生まれた子どもたちにとっては所沢が故郷になると思うと、今あるまち

の魅力を大切にしていきたいと思う。「武蔵野」という映画を観て、三富地域での伝統的な落ち葉堆肥農法を行う農作業風景や、人の手が入った美しい雑木林の映像に感動した。

この豊かな自然環境をできる限り次世代に残していきたい、そのために、身近にある畑や雑木林の保全活動に関わっていきたいと思っている。



川柳特集

川柳の楽しみ

地球環境に学ぶサークル 中島 峯生

★川柳を作ってみてください

「広場」に掲載の「川柳」欄は、この1月号で約3年、第38回になります。どなたでも応募をして頂いて、多くの句が集まり選句に苦労をしています。川柳は、雑誌のコラム欄、新聞の時事川柳・文芸欄などで、見る機会が多いと思います。雑誌等書籍の内容により川柳の内容も違いますが、予備知識として、川柳の基本を述べてみます。

俳句の「古池やかわず飛び込む水の音」と同様五・七・五の十七音字です。ただし、俳句と違い文語体でなく、話し言葉の口語体です。また、俳句の（や、かな、けり）切字は使いません。そして、季語は必要ありません。俳句は自然を対象にし、余韻を残しますが、川柳は人間や社会を対象にし、完結させます。作者は指を折って詠み、読者はリズム感を持って読めます。通常の生活のなかで簡単に詠めますので挑戦してください。

川柳には、穿ち・軽み・滑稽の三要素があります。が自然に分かりますので省略します。

ただし、今まで、交通安全、防犯など「標語」としていましたが、最近は何でも川柳と言っています。標語にならないこと、また、駄洒落にならない様に注意してください。

★なぜ川柳というか

「川柳」と言う言葉は、江戸中期に柄井川柳（からいせんりゅう）という選句の能力に優れた点者（テンジャ）・選者が居ました。その人の号「川柳」が文芸名になっています。

★川柳の紹介

1. 戦争中の川柳：「戦争と平和」に関連して、戦争中も出し続けた川柳誌に「番傘」と「川柳きやり」が有りました。それらから庶民の暮らしを詠んだ句を紹介します。

- | | |
|-----------------|------|
| ・柿熟す下に四五人疎開の子 | 笙人 |
| ・おせつちも小皿に少し戦時食 | 周魚 |
| ・焼夷弾掴んだ話とりまかれ | 浩 |
| ・遊びではない摘草へ老夫婦 | 前田五健 |
| ・年頃もみんな真っ黒けのいくさ | 小林愛穂 |
| ・紙屑でともかく今日の飯は出来 | きよ緒 |

2. 古川柳より、江戸時代の生活振りを詠んだ句。
・かみなりをまねて腹掛けやっとさせ

- ・米つきに所を聞けば汗をふき
- ・本降りになって出てゆく雨宿り
- ・仲人は小姑一人殺すなり
- ・借金をいさぎよくする祭り前
- ・是小判たつたひと晩居てくれる

3. 「広場」に掲載されなかった川柳：お孫さん、爺婆を詠んだ、ほのぼのとした作品を紹介します。

- ・爺と婆汗拭きあって鍋料理
- ・孫世代学部選びに先読めず
- ・子宝に恵まれ今日を平凡に
- ・うながされ孫とおすべり老いを知る
- ・里帰り孫が残した風邪の神
- ・長生きし孫より貰うお小遣い

4. サラリーマン川柳：サラリーマン社会を詠み投票で選び、作者名と合せて句が引立ちます。

- ・スポーツジム車で行ってチャリをこぐ

あたまで健康追求男

- ・「宝くじ当れば辞める」が合い言葉 事務員 A
- ・脳年齢年金すでももらえます 満 33 歳
- ・ラジカメのエサはなんだと孫に聞く 浦島太郎
- ・「早くやれ」そう言うことは早く言え 新舞い
- ・まだ寝てる帰ってみればもう寝てる

遠くの我家

参考図書

「十七文字の戦争」田村義彦著・かもがわ出版、
「古川柳」山路閑古著・岩波新書、他



第9回 所沢市川柳大会会場
壇上（選者・文台・協取）

「戦争と平和！」 第7回

天皇会見を見て

黒田 和代

12月23日は天皇誕生日、2018年は在位最後の誕生日会見とのこと。今まで取り立てて関心を持つことはなかったのですが、フェイスブックで友達が「感動的だ」と取り上げていたので、どれどれ、とインターネットで会見の一部始終を見てみました（全文掲載ページ「天皇陛下の記者会見」宮内庁

<http://www.kunaicho.go.jp/page/kaiken/show/25>）。

天皇の会見と言えば、いつも淡々とした語り口調で、退屈なイメージがあったのですが、今回は、時に涙をこらえ声を震わせてメッセージを伝えておられる姿に、正直ちょっと驚き、そして深い感銘を受けました。

メッセージには「平和」への強い思いが込められていたように感じました。「皇太子」という立場で終戦を迎え、そして「天皇」に即位して、その間、沖縄に11回訪れ「沖縄の人々が耐え続けた犠牲に心を寄せていく」思いは今後も変わらないこと。サイパン、ペリリュー、フィリピンのカリラヤに慰霊に訪れたことが忘れられないこと。そして自らの在位期間である「平成」

の日本が戦争のない時代として終わろうとしていることに安堵していること。

会見を見ながら、終戦から今日にいたるまで、もしかしたら日本中のだれよりも、先の戦争で犠牲になった命、そして「平和」であることに心を寄せておられる人かもしれないと思いました。

私は1963年生まれですが、物心

ついたころはまだ世間に「戦後」の気配がありました。周りの大人は何等かの形で「戦争」を経験しており、折に触れて子どもたちに、辛い戦争体験の話を聞かせてくれて、そして「戦争を해서는いけない」と語っていました。

終戦記念日がある8月はテレビや新聞でも終戦特番が組まれ、戦争を二度と繰り返してはならないと後世に語り継ぐ、そんな雰囲気でした。学校の夏休みの宿題でも「近所の大人の戦争体験を聞き感想文を書く」というものがあったことも覚えています。

それが、いつしか雰囲気が変わってきています。沖縄は、「日本で唯一地上戦となった場所」ではなく、白い砂浜と青い海が広がる常夏の楽しいリゾート地として紹介されます。

8月15日も、終戦よりもお盆や「夏フェス」の季節として、日本中いたるところで楽しい催しが満載。最近の若者は「終戦記念日」がいつだか知らない人も多いのだとか（『若者100人にアンケート調査、終戦記念日を「知らない」と答えた人が過半数を超す』ハフポスト http://www.huffingtonpost.jp/abemetimes/815-syusen_a_23509090/）。

日本では今や、戦争を経験として全く知らない世代が社会の中核を担う年齢となってきています。戦争が始まってしまうとどんなことが起こるのか、戦争を語り継がれていない世代は具体的にイメージできません。若い世代にとって戦争は、外国の話であり、遠い昔のことであり、自分たちには関係ない、知る必要もないことになりつつあります。それは、直接経験がない語り継がれた世代である私から見ても、非常に心もとなく、心配な状況だと感じます。



天皇陛下のペリリュー島慰問写真

会見の中で天皇が「戦後〇〇年」という表現を何度も口にされているのを聞きながら、改めて、先の戦争が終わってからの年月を「戦後〇〇年」と数える意味を考えてみたいと思いました。そして、子どもや孫たちにしっかりと戦争の現実を伝え、平和の尊さが理解できる人になってもらわねばならないと思っています。



左側、小学校1年生の頃の著者
右側の子どもはいとこ。中央は戦争を体験した（母方の）祖父。
場所は祖父の家の庭です。

サークル活動報告

月 1 回、自然と戯れませんか

地域の自然を考える会 岩本 賢次

主な活動は、公益法人トトロのふるさと基金の所有地 12 号地の管理業務（注、参照）と水質調査である。昨年の実施結果の詳細は、倶楽部HP「2018 サークル活動報告」を参照。

1. 定例会は、毎月第 4 火曜日。トトロ 12 号地に 10 時に集合し、良好な里山の環境を保つため、2 時間、



2018 年 11 月 27 日 作業終了後

管理作業を行う。自然の四季折々の草花、新緑や紅葉の木々との出会いがあり、年 1 回筍掘を楽しめます。

管理に関するグループは、トラスト取得地全般を管理する「トトロの森で何かし隊」など 12 団体、「菩提樹田んぼの会」な

ど農業関係 4 団体の 16 団体があり、活躍している。月 1 回 クロスケの家で開催される「里山部会」では、各グループが現況を報告し、今後の作業予定や周辺とのトラブルについてなど、様々な検討を行う。その検討を基に、各トラスト地の管理を進めている。収穫祭が 11 月にクロスケの家で開催され、他団体との交流があり、それも楽しみだ。

注) ★多様性のある落葉広葉樹、多様な上層木や下層植生が生育する落葉広葉樹林を目指して、常緑樹の伐採、株立ち整理、下層植生の刈り払い、落ち葉掃きを行い、手入れの行き届いた落葉広葉樹林とする。

2. 身近な水環境の全国一斉調査への参加（年 1 回）

2014 年から柳瀬川の調査を始めて 6 年目となるが、この調査目的は「全国一斉の河川等の水質調査を継続的長期にわたって行うことによって、綺麗な水環境を維持する」ことにある。

“市議会議員選挙アンケート”を実施します

傍聴席 石堂 智士

2018 年の活動は、出前講座を二つ、5 月に「下水道料金のあり方」と 7 月に「学童保育」を行いました。10 月には市議会会派の「自由民主党・無所属」の大石議員に参加いただき、質疑応答や意見交換を行いました。他に新しく始めた会員フォーラムを 4 回と、自由討論会を 1 回行いました。会員フォーラムは講師を会員が行います。会員の村瀬氏が講師 4 回と中心になり、他にも、栗田氏、平塚氏、阪口氏、



私などが講師になりました。話すネタがないと講師になれませんので、なかなかネタ探しが大変でした。

2019 年 4 月には、4 年振りに所沢市議会の議員選挙が行われます。傍聴席は、前回市議選でも前々回

市議選でも、市議選立候補者にアンケート形式で質問を送り、回答をブログや HP に公開してまいりました。ところが代表の私には 4 年前の経験がまったくありません。少し不安なのですが、4 年前に質問を作成したメンバーはほとんど残っており、前回の市議選アンケート調査要領と選挙スケジュールをもとに、12 月定例会で今回のアンケート作成前の学習会を会員 10 名が参加して行いました。

傍聴席が 10 年前に誕生したころ、夕張市の財政破綻で地方自治の危機が叫ばれました。この印象が強かっただけに、所沢市の将来を心配する有志の強い信念から、メディアが放送しない市政の情報を会員が傍聴してブログに書くことが始まりました。市議選は、傍聴席活動の原点なので、会員が一体となり、市議選の関心を高める「立候補者アンケート」になることを願っております。倶楽部をはじめ、市民大学 OB の方々、市政に関心を持つ市民の皆様に関心を持って役立つ市議選の情報を提供できれば幸いです。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 2922-6420)

2月15日(金)10:00～12:00 中央公民館2階6号室
及川道之先生講義 古事記上巻第6回解説(最終回)
その後懇親会「梅の花」～15:00

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

1月16日(水)13:30～16:30 中央公民館
定例会:大川会員による「フィリピン情勢の報告」
2月20日(水)13:30～ 中央公民館
定例会:渡邊晴雄氏による「シルクロードの回想」

3. 活いきシニア福祉の会(川上 紀春 90-5573-2548)

1月23日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター
定例会 (神社等近隣散策検討中)
2月27日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター
定例会(福祉関連勉強会)

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

1月15日(火) 例会 & 新年会
①ミュージカル「ルートヴィヒ2世」ノイシュヴァンシュタイン
ミュージカル劇場 ②音楽夢紀行「ヨーロッパ周遊夢物語」
2月5日(火) 鑑賞演目未定
いずれも 13:15 ～ 中央公民館 3階 8・9 学習室

5. 食を通して所沢を知る会(園田 ヒロ子 090-4005-1882)

1月8日(火) 10:00～12:00 場所 ふらっと
定例会、新年会
2月19日(火) 10:00～12:00 ふらっと 定例会
子供食堂の現状についての講座 講師:当麻 好子氏

6. 地域の自然を考える会(岩本 賢次 2923-9324)

1月22日(火)10:00～12:00 12号地生保全整備
作業:落ち枝整理等。
参加希望の方、北中グランド西側のトロ12号地にご参集
ください(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

1月15日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会:環境持寄り学習、他
2月19日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会:環境持寄り学習、2/25 14:00～「不都合の真実2」上映会

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

1月16日(水)13:15～15:00 中央公民館 定例会
議題 第1回「市政ひよこ塾」企画検討
2月6日(水)13:15～15:00 中央公民館 定例会
2月20日(水)13:00～16:00 中央公民館 学習会予定

9. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

1月15日(火)9:00～12:00 三芳町伊東農園 枯れ枝拾い
1月22日(火)9:30～11:30 黄林閣散策路ボランティア
1月24日(木)11:30～14:30 シーターミュウ
市民大学ファーム総会
1月26日(土)三芳町伊東農園落ち葉はき

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)

1月23日(水)10:30～13:00 中央公民館 調理室
「飾り寿司(房総寿司)作り」講習会 参加費 1,500 円
2月7日(木)11:30～15:00 於:山口観音、語り「山口観音」
昼食後、和尚さんの説明と拝観 拝観料 1人 250 円

11. ドラマティック・カンパニー(高橋 信行 090-9393-6238)

1月19日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室7号
「オセロ」DVD鑑賞
2月9日(土)、2月16日(土)10:00～12:00
中央公民館学習室7号 オセロを読み進めます。

12. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

1月29日(火)10:00～12:30 西新井町会館
喜劇「男はつらいよ」第3作～フーテンの寅～名称誕生
季節の歳時記『 新年会 兼「まゆ玉飾り」』実施
⇒次回上映会 2月12日(火)韓国映画 となります

13. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

1月28日(月) 所沢駅改札内 11:30 集合
池袋演芸場 開場 13:30 開演 14:00
【池袋演芸場にて落語観賞会】仲間と初笑いで脳の活性化

14. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

1月21日(月)14:00～16:30 新所沢東公民館
「傍聴席総会」昨年度活動報告と会計報告、
「市議選アンケート調査」質問項目の検討と質問書作成
2月17日(月)「市議選アンケート」実施予定

15. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

1月15日(火) 所沢小学校で「民話お話し会」
1月18日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館ボラ
ティア活動室2号 定例会
1月31日(木) 南小学校で「民話お話し会」

理事会報告

12月10日(月) 第1回理事会を開催
・佐藤会長のOB3団体交流のよびかけ文書を検討し承認しま
した。
・文化祭、サークル発表会の企画や参加について各理事が
サークルの意見をヒヤリングし、1月の理事会に報告すること
になりました。
・「新春の集い」会場は、航空公園「彩翔亭」が工事のため使
用不可となり、小手指「さくら会館」を候補としました。
・広報部は女性編集員2名増強。さらに女性が投稿しやすい
構成とシリーズをつくっていきます。
・総会欠席者に対し総会資料を郵送し、年会費等の払込を受
付中。速やかな払込をお願いします。

12期第2回理事会 1月21日(月)10:00～12:00
新所沢東公民館 研修室3号

みんなの広場 第10回 ドラマティック・カンパニー

柳澤 絹子

人生 100 年時代到来？

「人生 100 年時代」最近、複数のメディアの中で最も目を引くフレーズです。人生 50 年はもはや折り返し地点となったのか？日本で初めて「老人福祉法」が制定されたのは 1963 年。私は血気盛んな高校生でした。記念すべき年 100 歳以上の該当者は 153 名。30 年後の 1992 年マスメディアの支援の下、100 歳の双子姉妹、きんさん・ぎんさん登場に日本中が沸きました。その年の該当者は 4,152 名。バブルの時代、モーレツ社員の 1 人でした。その後、高齢化が年々加速し平均寿命の伸びに比例し進み 1998 年 1 万人超、2012 年 5 万人超え超高齢化社会へ突入したのです。2018 年 9 月厚生労働省発表の該当者数は 69,785 名と大幅アップし記憶に新しいところです。医療や技術の進歩と共に豊かな食生活も得られ、恵まれた環境の中寿命が伸び、増加は今後も続きます。高校生であった私も半世紀経過しアクティブシニア入り。今後の人生を如何に過ごすべきか再検討の結果、生き甲斐の素は昔と変わらぬ事と確認出来ました。気の合う仲間と共に歌や踊りに語りありの活動&周囲の人々に元氣と笑顔を届ける事が出来たら happy です。生涯現役目指し、体力維持に励まねば！

むさし野俳句会（三十年十二月）荒幡富士吟行作品抄



ひだまりに煙草くゆらせ年の市
散りそめし黄葉を囃す鳥の声
歳晩の場末にそよぐ幟旗
里人の守る富士塚冬ぬくし
冬紅葉幣の白さを浮き立たせ
こもれ日の野面近くを冬の蝶
朝日影集めて眩し冬紅葉
もてなしは山の七彩冬うらら
火入れ待つ炭焼小屋の青き屋根
箒目をつけて庭はく年の暮

井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子

群舞して日の斑に遊ぶ冬尺蛾
アメ横の売り声高し年の暮
桃源はかくや荒幡冬紅葉
里富士へ枝道いくつ紅葉燃ゆ
走る走る巨漢ラガーのパス回し
冬日燦荒幡富士の合目石
雨吸つて塗り絵の様な落葉坂
まつさをな里山晴れや冬木立
里富士の紅葉明りの一合目
さはさはとトロの森の冬紅葉

高光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
鈴木 征子

《編集後記》

明けましておめでとうございます
本年もよろしくおねがいいたします

我々第 12 期編集委員会も会長副会長以下 3 名の新旧の交代もあり、新しく 15 名で「広場」「HP」の編集にフレッシュな気持ちで臨む所存です。会員の皆様のご協力をいただき、親しみ易く、面白いページを協力しあって作っていきましょう。

亥年の「亥」は「植物の生命の力種子の中に閉じ込められている状態」を意味しており、次のステージに向けた準備期間です。

「広場」も 12 年目に入り、今年は来年度以降に繋がる、新しいテーマを模索しつつ、当倶楽部の理念を念頭に置き、的確かつタイムリーな情報発信に注力していきます。

(西郡 記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳三八 作品発表表

中島峯生選

課題「晴れ」

忘れ物胸のモヤモヤすでに過去
ボランティア公園掃除みな笑顔
快晴を祈るばかりの雨男
テル坊主晴れの頼みはお姉さん
晴れ着はね母が縫ったの我が宝
ご近所を晴れ着で歩くふたまり

「自由句」

お年玉気にせず過す隠れ宿
孫二歳何で何でに知恵尽きる
医者の指示ビールお酒は週二回
宝くじ五億当たるか夢の夢
パワハラがオリンピックを下支え
クリスマス孫に振られた老夫婦

突拍子
りんご好き
庵閑子
どうし
鼻・鬚
海さとし

りんご好き
鼻・鬚
縄文人
突拍子
海さとし
どうし

次回（第 39 回）：課題「上京」そして「自由句」、
締切り日：1 月 20 日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-1161